

JCDかわら版

一般社団法人 日本コンクリート診断士会

日本コンクリート診断士会 次の10年に向けて

(一社)日本コンクリート診断士会 総務部会長 竹内祥一

明けましておめでとうございます。

昨年、「ラグビーワールドカップ2019日本大会」が開催され大変な盛り上がりを見せまして未だに余韻が残っております。そして今年は「2020年東京オリンピック」が開催されますので非常に盛り上がり期待され私自身も大変楽しみにしております。

さて、「一般社団法人日本コンクリート診断士会」は2010年に設立しまして今年で10年という大きな節目をむかえました。

振り返りますと設立当初は北海道から九州まで各地区の診断士会が14団体、正会員は514名、法人会員は41法人でスタートしましたが、2019年6月7日時点で全国20団体、会員数は1776名(学術会員38名、法人正会員33名、法人賛助会員14名、正会員1565名、賛助会員126名)法人会員は82法人となり会員数は3倍以上になりました。

2012年からは「業務体験発表会」を毎年開催するようになりまして各地域でのコンクリート診断業務について様々な事例や診断方法、診断結果が発表され、会員の技術研鑽に大いに役立っていると思います。また、これまで東京で開催していた「業務体験発表会」は、2015年は石川県、2017年は東海、2019年は高知県と各地域で開催するようになりまして各地区診断士会同士の繋がりがより深くなりました。

さて、次の10年に向けて考えますと、近年の環境の変化に伴う災害増加への対策、生産年齢人口減少に伴う生産性向上に向けたAIやロボットなどの新技術の開発、「働き方改革」など法の整備が大きく進み、めまぐるしく社会が変革していくでしょう。

それに伴いましてコンクリートの診断業務にもAIやロボットなどの新しい技術が導入され、診断方法に関しましても時代とともに変わっていくものと考えられますので、コンクリート診断士として常に新しい情報をつかみ時代の変化とともに診断士として技術レベルを高める必要があります。そのためにもコンクリート診断士会で情報を共有し各地区診断士会とのネットワークを活用して、皆様方には日々のコンクリート診断業務に大いに役立てていただきたいと思います。

総務部会としましては、めまぐるしく変わる時代の変化とともに会の運営がスムーズに進むよう努力してまいります。

本年も皆様方のご健勝とご多幸を心よりお祈り申し上げます。

活動近況

2019. 7. 8
事務局移転

2019. 10. 15
部会長会議実施

2019. 11. 15
JCD年次発表会実施

2020. 3. 2
部会長会議予定

2020. 5. 18
JCD 10周年記念祝賀会予定

詳しくはHPをご覧ください

<http://www.jcd-net.or.jp/>

地区診断士会の紹介

長野コンクリート診断士会

1. 組織情報

- ・ 設立年：H22年7月23日
- ・ 会員数：R2. 1. 8現在 学術会員4名 正会員69名,
賛助会員10名 個人会員計83名
うち法人(正会員4名、賛助会員4名)
- ・ テリトリー：長野県,

2. 令和元年度活動報告

- ・ 総会および記念講演

令和元年6月15日 メトロポリタン長野

〔記念講演〕「コンクリートの劣化について」

講演者 学術会員 大原涼平氏（長野高専）

- ・ コンクリートの歴史
- ・ 日本におけるコンクリート史
- ・ 劣化事例
- ・ 高専の取り組み
(ひび割れ+物質移動の影響評価)
(凍結防止剤が構造物に及ぼす影響評価)



▲ 総 会



▲ 記念講演会

- ・ 新建新聞との共催：診断士受験講座
令和2年3月13日(金)、14日(土)開催

JCD2019年次発表会報告

第3回保有技術発表・第7回業務体験発表

あけましておめでとうございます。本年もよろしくお願い致します。

さて、本年度開催されました保有技術発表会・業務体験発表会の報告をさせていただきます。本年度より「JCD年次発表会」とタイトルを一新しての発表会として、2019年11月15日（金）に高知県建設会館にて開催されました。本年度の発表は下表の通りですが、保有技術発表が2件、業務体験発表が全国より11件報告されました。

参加者も全国より43名が集まり、高知県診断士会メンバー28名と併せ総勢71名による盛大な発表会となりました。全国より報告された発表の内容はどれも興味深く、普段の業務への知見を広げるものばかりであり、さらに発表内容に対する質疑や意見は参加者にしか得られない貴重な刺激になったと思います。

保有技術発表会

	発表タイトル	発表者	所 属
1	RFID構造物診断技術「WIMO」の概要と適用事例	中西 博	(株) 太平洋コンサルタント
2	シールテープせこたんTM 及びインジェクションガンを用いた手動式低圧樹脂注入工法によるひび割れ補修施工事例	市村 周二	ニチバン (株)

業務体験発表会

	発表タイトル	発表者	所 属
1	交通供用下における橋梁補修工事の工夫について	浜渦 康博	高 知 県
2	点在する橋梁保全工事における高架橋の補修及び耐震補強等の事例紹介	北野 一臣	島 根 県
3	塩害地域におけるプレテンション方式PC床版橋の変状事例	前田康弘	鳥 取 県
4	PAE系PCMを用いた薄層巻立て補強の概要と施工事例	江崎勝広	大 分 県
5	道路トンネルの変状と判定事例	林 快宗	福 井 県
6	塩害環境下のボックスカルバートの調査・補修設計	古川博人	石 川 県
7	鉄桁橋のRC床版の劣化調査について	平塚正人	宮 崎 県
8	地中送電洞道に適用した電気防食工法と防食効果	大久保謙治	東 京 都
9	コンクリート補修施工時の技術提案に対する考慮事項	伊藤捨雄	北 海 道
10	浦戸大橋耐震補強工事における海上部の仮締め切り工の施工について	宮地稚奈	高 知 県
11	RCT桁の超微粒子セメント注入における透過伝搬速度の向上	※勇 秀忠	熊 本 県

※は報文のみの発表



会の最後に奥村技術部会長より、宮崎県と北海道の発表について、特に技術力が高い発表であったとの講評が行われ、本年度の年次発表会の幕が閉じられました。

その後の交流会では、高知特産の食事を堪能しながらの賑々しい会の中で、原田高知県診断士会会長より、次の地方開催場所が「宮崎県」に指名されました。

当日の高知は、坂本龍馬の「誕生祭」が開かれており、「よさこい鳴子踊り」の大会を見ながらの帰路となりました。

広報部会 天野 智雄

新技術等の紹介

せこたん™

ひび割れ補修用 シールテープ手動低圧樹脂注入工法

【1960年代後半】 不透明シール材+手動式注入工法 日本へ導入

充填状況把握：注入ガンのトリガーを握った手に掛かる圧力で推測

課題：◇熟練作業者による施工必要

◇シール材撤去まで充填状況を確認できない

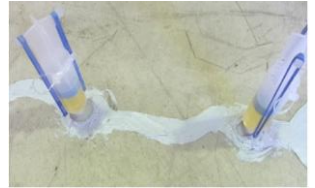


【1990年代】 不透明シール材+自動式低圧注入工法 主流に

充填状況把握：自動注入器に注入樹脂を余分に残すことで推測

課題：◇時間掛けて樹脂注入・硬化（24h〜）⇒ 注入器存置時間長い

◇シール材撤去まで充填状況を確認できない



シール材透明化により、注入樹脂  の充填状況の可視化を実現！

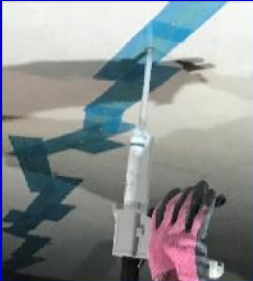
【新工法】 シールテープせこたん™ 手動式低圧樹脂注入工法!!

充填状況把握：透明シールテープの背面から目視確認

特長：◇注入器設置不要で、充填状況視認しながら、最適圧力での樹脂注入が可能

◇短時間で樹脂注入、表面まで樹脂充填 ⇒ 施工品質向上

◇樹脂硬化後の撤去はテープ剥がすのみ ⇒ 短時間の通行規制で施工可能



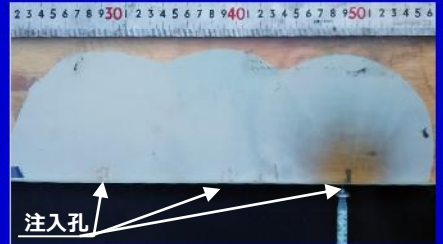
樹脂注入作業



充填状況目視確認



撤去作業



3箇所から注入した樹脂の浸透状況
注入孔間隔を半径に同心半円状に浸透

※ 特に稼働中施設・時間に制約・資材持込み量に制約ある補修工事に好適

※ 对外発表等：コンクリート診断士会・工学会・土木学会発表他、NETIS登録申請手続き中



CS-5010 補強用
CS-5020
シールテープせこたん™



CSP-5000 インジェクションガン
せこたん™
専用プライマー



硬化剤
主剤



エポキシ樹脂カートリッジ
+ ミキシングノズル

 ぴったり技術で
明日をつくる
NICHIBAN

ニチバン株式会社

テープ事業本部
〒112-8663 東京都文京区関口 2-3-3

☎(03)5978-5633